

## 地域コミュニティの再生

鈴木孝寿議員

町内会・農事組合は、生活上重要な役割を担っている。その戸数は100戸を超えるところもあり、減った戸数が増加に転じることは考えにくい。地域の自主性を重視する中で行政として直接的な役割を担うことに難しさを感じるが、地域の福祉を考えると、上では無視できない。自主的な特性を踏まえつつ、今後の減少を鑑み、町内会の合併や連携のための仕組みづくりについて町長の考えを伺う。

高薄町長

小さな自治体づくりとして、市街地であれば東西南北に分け、町の業務の一部に組み込み、職員を配置して地域コミュニティができないか考えた

ことがある。

東西南北でなくても近隣の町内会と共同で清掃活動や花見、福祉活動などができないか、ある町内会に持ち掛けたこともあるが、そこは自主性を重視していることから現場職員が積極的に関わっていなかったこともあり進まなかった。

高齢者が増えている中、ある程度の母体がないと活動できないことから、町内会の集約が必要であり、この課題を人口減少問題を含めた中で投げかける必要がある。

## 奨学金制度の復活

鈴木孝寿 議員

行財政改革において奨学金条例は事実上新規募集が凍結されている。しかし、進学を志しながらも経済的な事情等によりその進路の選択に限りが出てしまうことは、未来

を担う子どもを地域あげて育てるといふ本町の風土にそぐわないと考える。

この条例の凍結解除の予定はあるか。

三澤教育委員長

他の奨学金制度が充実したことを背景に、本町の危機的財政状況から、平成17年度以降は新たな方への貸付けは実質凍結の状況が続いている。

今後の取り組みについては、奨学金制度が拡充されてきている状況から、喫緊の課題を解決することを優先順位に考え、検討していきたい。

## マイナンバー制度

北村光明 議員

本町における「マイナンバー制度」の現状と認識を伺う。  
①制度の概要とその対応は。  
②この制度の利便性は。  
③年金データの流出等が

あったが、安心・安全の確保をどう行うのか。

④町民への周知をどう行うのか。

高薄町長

①マイナンバーは本年10月から、住民票を有する全ての国民一人ひとりに通知され、平成28年1月から、社会保障、税、災害対策分野の中で情報の管理が行われる。

本町においても制度に対応するために、システムの改修・整備を進めている。

②年金や福祉などの申請で書類の添付が減り、年金の未払いや不正受給等がなくなる。適正な課税が実現する。

③特定個人情報収集の禁止や罰則の強化、情報の分散管理、アクセスの記録、通信の暗号化など様々な対策を講ずる。  
④新聞チラシ折り込みも含め、更に広く周知していく。町民の方が不安にならないよう情報の発信に努める。

## 子育て支援の現状

北村光明 議員

第2子以降の保育料を無料とした後の利用者及び保育現場の状況について伺う。

①入所者が増えているが、子育て支援の状況はどう改善されたか。

②保育所運営に必要なマンパワー（人的資源）は確保されているか。職員数と一人当たりの担当割合の変化を伺う。

高薄町長

①第2子無料化は保護者の方々から大変喜ばれており、第1子の年齢上限を小学3年生まで上げたことでより多くの方が恩恵を受けている。  
②常設保育所全体では調理員を除き、正職員17名、臨時職員20名で対応している。順次正職員に切り替えていく計画であり、マンパワーはその中で確

保していく。代替職員もあり、不十分な体制はない。

国が定める職員の配置基準は0歳児が3対1、2歳児が6対1、3歳児が15対1、4歳児以上が30対1である。最近では発達支援の対象児が増えていることから、職員の加配（基準より多く配置すること）に努めている。



楽しい親子遠足♪ (中央公園)

## 町職員の再任用

北村光明 議員

「清水町職員の再任用に関する条例」の運用に関して伺う。

①再任用された職員の数及び人数は。  
②再任用制度の現状は。